市民活動団体の通信簿（セルフチェックシート）

団体名 **子どもの食と貧困を考える会**

団体及び事業の概要：

代表者名
河野健市

記入日
5年3月30日

評価項目と評価の観点	評価
1. 団体運営 **総会、役員会等を開催し、団体の事業報告・決算及び事業計画・予算を決議の上、事業を執行している。**	A
2. 情報公開 **紙媒体やウェブサイト、SNS 等を通じて、団体の基本的な情報や活動内容を公開している。**	A
3. 目的 **団体の目的を明文化し、各事業のふりかえりや見直しを実施している。**	A
4. 法令遵守 **事業の執行にあたり、法令を遵守している。**	A
5. 会計処理 **資金の管理について、複数人によるチェック体制があり、会計年度ごとに監査を行っている。**	A
6. 市民参加 **事業の対象となる地域の課題やニーズを関係者から汲み取り、多様な市民の参加を得ている。**	A

自己評価に関する団体コメント

コロナ禍において中止した子ども食堂すまいるステーションも今年1月より再開することができ、目標は概ね達成できた

「市民活動団体の通信簿」は、団体の運営が適切に行われているかを点検するため、会計年度の終了後に、項目別に４段階※で自己評価を実施するものです。

自己評価の結果を、市民活動支援センター「まちびと Caffe」のウェブサイト等で公開することにより、透明性の高い団体であることを広く周知することができます。

※4 段階の自己評価

A：適切であった

B：改善を要する

C：抜本的な見直しが必要

D：不適切であった

当団体は、以上のセルフチェックの内容について、市民活動支援センターのウェブサイト等で公表することを了承しました。